

教育委員会の取組状況



3番札所金泉寺でマッサージのお接待
徳島視覚支援学校 高等部専攻科生

平成29年11月17日

徳島県教育委員会特別支援教育課

取組の方向性

■ 小中高等学校における特別支援教育の充実

- 小中学校における行動及び学習の支援
- 高等学校における社会的自立をめざす学習の推進

■ 特別支援学校における教育の充実

- 就労支援のさらなる推進
みなと高等学園における取組
- 2020年を見据えた文化・スポーツの振興

■小中高等学校における特別支援教育の充実

小中学校での取組

○「ポジティブな行動支援」の展開

通常の学級で取り組む集団指導の
実践研究(東みよし町:加茂小)



学校全体で取り組む「あいさつ運動」



○自律型学習教材の開発

子どものつまずきに応じ、自ら学習
を進める教材を教員が作成

たし算か、ひき算か答えましょう。

①赤色のあめは8こ、黄色のあめはそれより7こ多いです。

黄色のあめは、(たし算・ひき算)でもとめます。

自律型学習教材の例

発達障がい教育・自立促進
アドバイザーチームとの共働



アドバイザーチーム
知事表敬訪問

良い行動をほめて育てる
ポジティブな行動支援

高等学校での取組

高等学校に在籍する特別な支援を必要とする生徒に対して、特別支援学校の指導手法を参考にした支援を展開します。

- 社会的自立のためのコミュニケーション能力やソーシャルスキルの向上を目指した授業実践
- 特別な支援を必要とする生徒についての教員の理解啓発



ビジネス電話マナー講座



家計バランス表の作成

教員の専門性向上

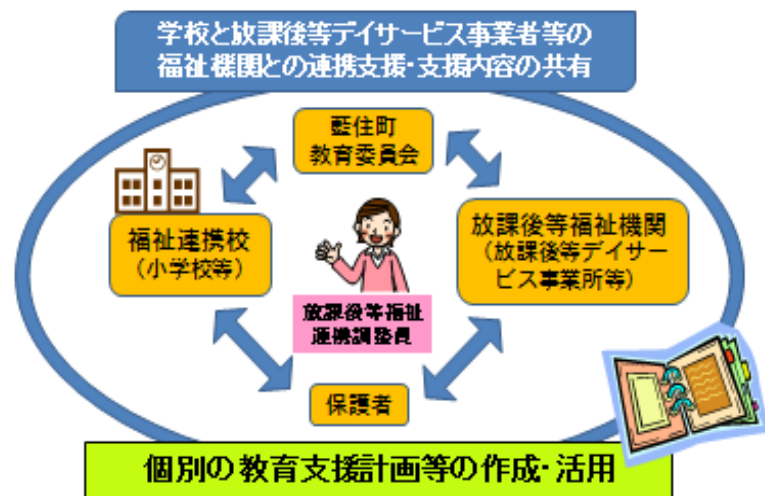
- 特別支援教育に関する教員研修
管理職, 学級担任, 初任者,
特別支援教育コーディネーター等
- 巡回相談や医師等の専門家による
支援体制
学校コンサルテーションの実施
- 特別支援教育e-ラーニング研修
支援システムの開発
専門性の高い教員が作成
66項目803問が公開中(H29年11月現在)



e-ラーニング問題例

福祉分野での実践

- 小学校と放課後等デイサービス
事業所の連携強化についての
実践研究(藍住町)
- 放課後等福祉連携に関する
県民の理解啓発



市町村の放課後等
福祉連携モデルを
提案します。



■特別支援学校における就労支援

とくしま特別支援学校 技能検定

平成24年度から実施。高い職業技能の獲得、就労に向けた意欲の向上をめざす。

- 5分野:ビルメンテナンス, 接客, 介護, ICT, 流通
- 大学教員や専門家, 教員で構成するすだちサポート会議を中心とした運営
- 専門家及び特別支援学校教員による審査



技能甲子園

平成29年度に創設。各校が技能検定で身につけた職業技能を競い合う中で、生徒同士の交流を促進する。

- H29参加校:板野支援, みなと高等学園, 阿南支援, 国府支援, 池田支援美馬分校
- 「床面清掃」「テーブル拭き」の学校対抗トーナメント戦
- 技術, マナー, 所作などを総合評価
- 趣向を凝らした応援合戦



You Me(ゆめ)チャレンジフェスティバル

生徒の「働きたい想い」を企業等の関係者に発表し、事業所等の障がい理解を進めるとともに、幅広い業種への生徒の就労機会の拡大を図る。

○対象： 高等部生徒，特別支援学級生徒，事業所等関係者

○実施状況：

- ・平成26～28年度 年2回，平成29年度 年3回実施
- ・毎年，200名前後の生徒，40社前後の企業が参加

○内容： 働こう宣言，技能検定の実演，企業との懇談



ビデオを
ご覧下さい。

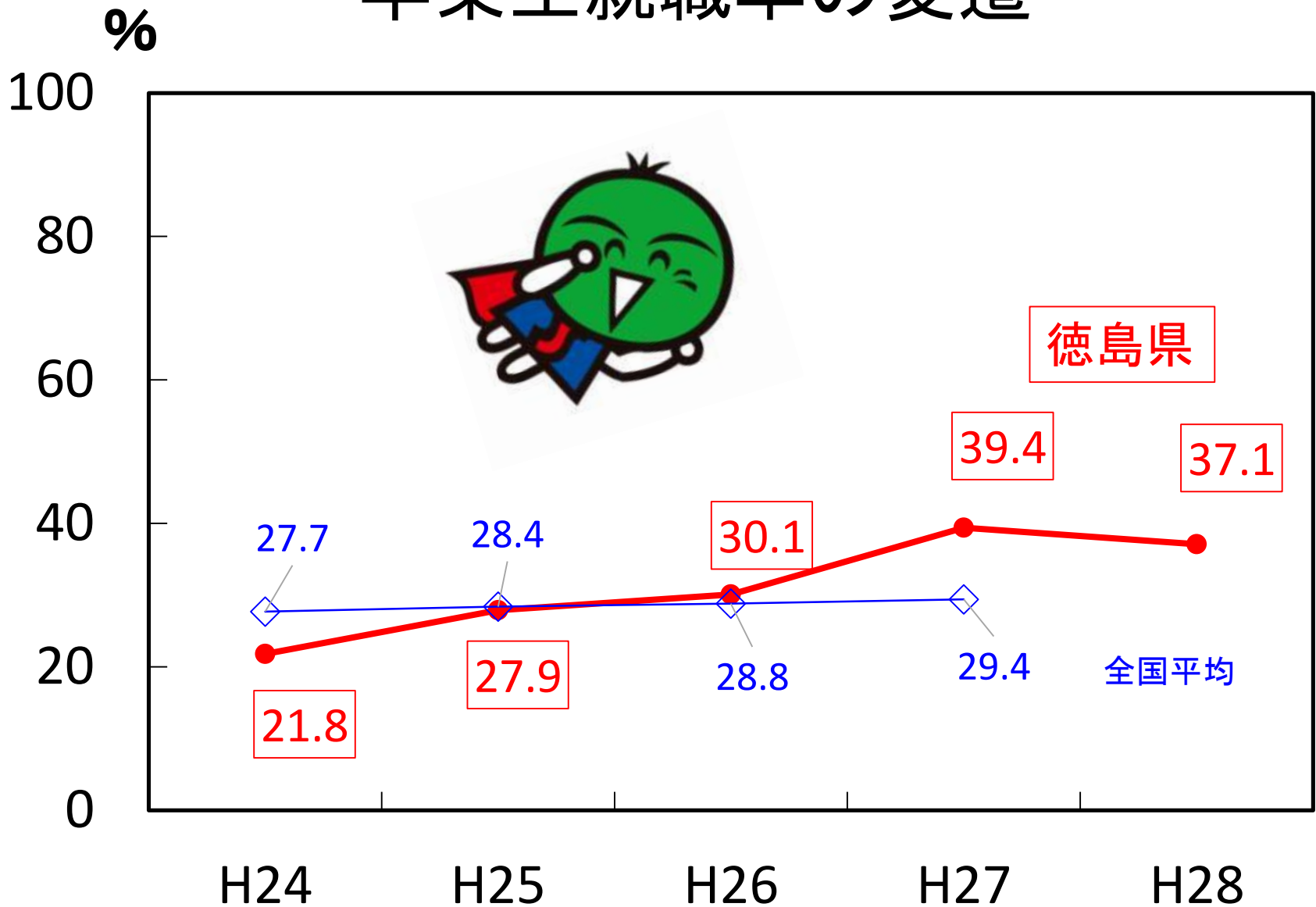


徳島県立特別支援学校の生徒等の 就労支援活動に関する協定

- 平成28年度に事業所及び関係団体3カ所とそれぞれ締結
 - (一社)徳島ビルメンテナンス協会・徳島ビルメンテナンス協同組合
 - (株)キョーエイ
 - 徳島県老人福祉施設協議会
- 就業体験や地域貢献活動への受入れ促進
- 就労支援活動への協力



卒業生就職率の変遷



みなと高等学園の取組

高等学校段階の病弱又は知的障がいを伴う発達障がいの生徒を対象として、社会的、職業的自立に向けた教育を行う特別支援学校で、平成24年4月に開校した。高等部のみを設置し、商業ビジネス科、情報デザイン科、生産サービス科、流通システム科の4学科を設置している。

- 職場見学や校内及び事業所等での就業体験を通して、生徒の働く力を育成
- 基礎的・基本的な知識、技能に加え、自己管理能力や集団生活への適応能力を伸長

	H26	H27	H28
就職率	88.5%	90.3%	89.7%

※就職希望者の就職率は100%



みなと高等学園全景



外部講師による調理実習



販売実習室

みなと高等学園の職業技能を生かした地域貢献活動

地域の事業所等と協力した商品開発

- キクラゲを使った新商品「キクラゲット」の開発
- 6次産業化学習として田植え・稲刈り・脱穀の体験と「おはぎ」の制作、販売



調理 & 試食

みなとクリーン

- 小松島市内を中心に、公共施設や福祉施設で年間20回程度の清掃奉仕活動を実施
- エアコンのフィルター清掃, 床面の日常清掃, 床面洗淨, ワックスがけ, 窓清掃 等



心を込めて美しく

わくわく家庭教育づくりプログラム事業

- 地域の児童館等に出向いて、防災や不審者対策の寸劇や紙芝居を上演
- 家族や子育てについて考える家庭科の授業として、平成26年度から実施



不審者に注意!

アートで活躍する特別支援学校生徒



障害者雇用支援月間ポスター(平成28年度)
絵画の部(高校・一般) 厚生労働大臣賞
みなと高等学園 卒業生



障がい者アーティストの卵発掘展(平成27年度)
審査委員敢闘賞 鴨島支援学校 卒業生



第4回ICTとくしま大賞(平成26年度)
e-とくしま推進財団賞
みなと高等学園 チームNさん

■特別支援学校における文化・スポーツの振興

Specialプロジェクト2020体制整備事業(スポーツ庁)

特別支援学校が、地域の障がい者の芸術・文化活動及びスポーツ活動の拠点となり、2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機に開催される全国的な祭典の支援体制を整備することを目的として推進する。

○障がい者の芸術・文化活動の充実

専門家との連携によるデジタルアート制作

児童生徒の「アート作品展」の開催

※障がい福祉課事業との連携



○障がい者の体育・スポーツ活動の充実

「体育・スポーツ」実践協議会への派遣

特別支援学校教員へのボッチャ講習

※障がい者スポーツ協会等関係団体との連携



平成27～29年度 地域における障がい者 スポーツ普及促進事業(スポーツ庁)

※障がい福祉課事業への参画

生涯にわたってスポーツライフを継続する能力の育成するとともに、障がいの有無にかかわらず楽しむことのできるニュースポーツを通して特別支援学校と地域の学校等との交流を促進する。

障がいに応じたニュースポーツの実践

- 特別支援学校で実践している
ニュースポーツ
カローリング、フライングディスク、
タグラグビー、フロッカー、
グラウンドゴルフ、ボッチャ

スポーツを通じた地域等との交流

- 地域の講師による実技講習会
- 地域のスポーツ大会への参加
神山すだちマラソン、三好ロード
レース大会、カローリング大会



カローリング



タグラグビー



三好ロードレース大会

特別支援学校「みんなが主役」きらめき事業

特別支援学校近隣の札所等に出向いてのお接待活動，文化的な体験学習の積み重ねによる児童生徒の音楽的才能の開花，これらを通して特別支援学校の児童生徒一人ひとりが「主役」となり，障がいの種別や程度に関わらず，将来にわたって地域で活躍できる力を身に付ける。

○お接待文化への生徒の参画

- ・札所での「お接待イベント」の開催
- ・接客技能を生かした湯茶のサービス
- ・リサイクル素材作品の展示や配付
- ・マッサージのお接待（視覚支援）



○体験的音楽学習

- ・鑑賞＋演奏や身体表現などの体験学習
- ・児童生徒の音楽的な才能を開花



今後も、児童生徒の社会参加と
共生社会の実現に向けて進んで参ります



国府支援学校地域貢献隊
14番札所 常楽寺にて

ご清聴ありがとうございました